

令和元年播種（令和2年産）麦類作況試験生育状況（古川農試）〔2月10日調査結果〕

1. 供試品種および耕種概要（中甸区・下甸区共通）

供試品種	早 生	中 生
六条大麦	シュンライ	ミノリムギ
小 麦		シラネコムギ
		夏 黄 金

- ・土づくり肥料等：粒状苦土石灰 6.0 kg/a
- ・排水対策：暗渠および弾丸暗渠  
(ほ場長辺方向 2.5m×ほ場短辺方向 5m 間隔)
- ・ほ場条件：沖積埴壤土 転換初年目(前作水稲)

(中甸区)

- ・播種期：10月17日
- ・播種量：0.9 kg/a(ドリル播き, 条間 28 cm)
- ・施肥：尿素磷加安 777 号  
(N : 0.8 kg/a, P205 : 0.8 kg/a, K20 : 0.8 kg/a)

(下甸区)

- ・播種期：10月30日
- ・播種量：1.0 kg/a(ドリル播き, 条間 28 cm)
- ・施肥：(中甸区と同じ)

2. 気象概況〔1月～2月上旬〕(表1, 図1)

- ・平均気温は、高温傾向で経過した。
- ・降水量は、1月中旬と2月上旬は少なかったが、1月上旬と下旬に低気圧の接近による大雨があり、期間全体では多くなった。積雪は記録されたが、短期間で消雪した。
- ・日照時間は、1月中旬を除き多照であった。

表1 気象経過(1月～2月上旬) 古川 AMeDAS

	平均気温		積算降水量		積算日照時間	
	本年 (°C)	平年差 (°C)	本年 (mm)	平年比 (%)	本年 (hr)	平年比 (%)
1月上旬	1.8	1.5	41.0	252	46.5	122
1月中旬	2.0	2.2	6.5	61	33.3	80
1月下旬	2.6	3.0	64.0	430	51.3	106
2月上旬	0.4	0.5	2.0	16	51.6	108

注1) 気象庁:古川AMeDASデータから引用  
注2) 平年差(比)は古川AMeDAS平年値データとの比較

3. 生育概況

1) 2月10日現在の生育状況(表2)

- ・中甸区の大麦は、平年と比較して、草丈が78~89%と小さかったが、茎数は115~132%、葉数が+0.8~+1.3枚と多かった。中甸区の小麦は、草丈が75%、茎数が93%と平年値を下回ったが、葉数は+1.6枚と多かった。
- ・下甸区の生育量は、中甸区と比較して、草丈が65~87%、茎数が51~78%、葉数が69~78%であった。

2) 幼穂分化状況(表3)

- ・中甸区の大麦の幼穂長は約2.0mm、小麦は約0.6mmで、平年よりやや長~概ね平年並であった。
- ・下甸区の大麦の幼穂長は約0.9~1.0mm、小麦は約0.2mmで、概ね前年並であった。
- ・中甸区の大麦は、平年より40~44日早い12月末~1月中旬頃に、下甸区の「シュンライ」は2月中旬頃に、幼穂形成始期に達したと推定される。
- ・小麦は、2月中旬の時点では幼穂形成始期に達していない。

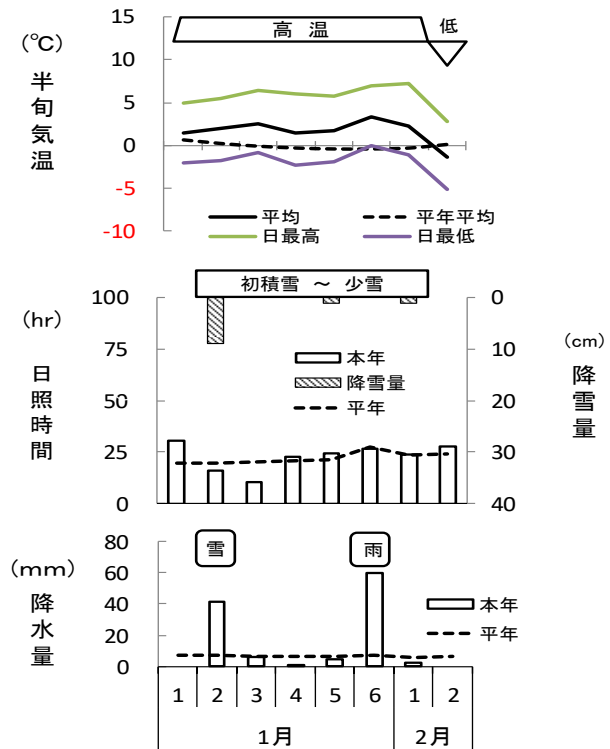


図1 気象経過 古川 AMeDAS

表2 生育状況（草丈・茎数・葉数）（2月10日現在）

品種	区別	草丈			茎数			葉数			
		本年 (cm)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (本/m <sup>2</sup> )	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (枚)	前年差 (枚)	平年差 (枚)	
大 麦	シュンライ	中旬区	8.9	63	78	957	81	115	6.2	-0.3	0.8
		下旬区	5.8	69	-	751	88	-	4.7	0.4	-
	ミノリムギ	中旬区	10.4	76	89	1148	96	132	6.8	0.4	1.3
		下旬区	7.2	81	-	654	76	-	5.3	0.4	-
小 麦	シラネコムギ	中旬区	9.7	67	75	821	55	93	7.4	0.6	1.6
		下旬区	8.4	72	-	417	43	-	5.1	0.2	-
	夏黄金	中旬区	8.9	78	-	817	71	-	6.3	0.1	-
		下旬区	7.3	75	-	435	76	-	4.7	0.4	-

注1) 中旬区の平年比(差)は、平成25年播種を除く過去7か年中の最高値と最低値を除いた5か年分の平均値との比較。

注2) 下旬区は平成29年播種から、「夏黄金」の中旬区は平成28年播種から供試のため、平年値(比・差)はない。

表3 生育状況（幼穂長及び幼穂分化程度）（2月10日現在）

品種	区別	幼穂長			幼穂 分化 程度	幼穂形成始期			
		本年 (mm)	前年差 (mm)	平年差 (mm)		本年 (月/日)	前年 (月/日)	平年 (月/日)	
大 麦	シュンライ	中旬区	2.0	0.5	0.8	VIII	12/29	12/28	2/11
		下旬区	1.0	0.3	-	VII	2/12	3/1	-
	ミノリムギ	中旬区	2.0	0.8	0.9	IX	1/11	2/4	2/20
		下旬区	0.9	0.3	-	VII	-	3/5	-
小 麦	シラネコムギ	中旬区	0.6	0.2	0.2	VII	-	3/6	3/15
		下旬区	0.2	0.0	-	V未満	-	3/16	-
	夏黄金	中旬区	0.6	0.3	-	VI	-	3/13	-
		下旬区	0.2	0.0	-	V未満	-	3/20	-

注1) 中旬区の平年比(差)は、平成25年播種を除く過去7か年中の最高値と最低値を除いた5か年分の平均値との比較。

注2) 下旬区は平成29年播種から、「夏黄金」の中旬区は平成28年播種から供試のため、平年値(比・差)はない。

注3) 幼穂分化程度: V期未満は省略。

注4) 幼穂形成始期: 幼穂長1mmに達した日。

〔参考〕麦類の幼穂分化程度と幼穂長（mm）

区 分	苞分化期	小穂分化期				穎花分化期	
	V	VI	VII	VIII	IX	X	
大麦（シュンライ等）	0.5	0.5～0.7	0.7～1.5	1.5～2.0	2.0～4.0	4.0～5.0	
小麦（シラネコムギ等）	0.5	0.5～0.6	0.6～1.0	1.0～1.2	1.2～4.0	4.0～5.0	

注) 幼穂分化程度はI～Xの10期に区分されるが、V期以前は外部形態による判定が困難であるため省略。

厳密にはVII期は「前・後期」に、IX期は「前・中・後期」に区分される。

令和元年播種（令和2年産）麦類生育調査ほ生育状況〔2月10日調査結果〕

表4 令和元年播種（令和2年産）麦類 生育調査ほ 耕種概要

担当普及 センター	品種	実施場所	畑転換	排水対策	播種期 (月/日)	播種量 (kg/a)	条間 (cm)
			年数	(明渠, 暗渠等)			
大河原	シュンライ	大河原町金ヶ瀬	21	暗渠	11/10	0.8	30.0
	ホワイトファイバー	大河原町金ヶ瀬	3	暗渠	11/8	0.8	30.0
仙台	ホワイトファイバー	大和町落合	2	本暗渠, 弾丸暗渠, 明渠	11/18	1.0	30.0
大崎	シラネコムギ	大崎市古川	2	暗渠, 心土破碎	11/1	0.9	15.1
美里	シラネコムギ	大崎市鹿島台	6	明渠	11/25	1.5	25.0
	夏黄金	涌谷町	1	明渠	11/11	1.2	20.0
登米	あおばの恋	登米市豊里町	18	明渠, 暗渠	11/6	1.0	25.0
石巻	シュンライ	石巻市桃生町	1	本暗渠, 弾丸暗渠, 明渠	11/2	1.0	29.5
	ミノムギ	石巻市桃生町	1	本暗渠, 弾丸暗渠, 明渠	11/1	1.0	30.7
	シラネコムギ	石巻市桃生町	1	-	11/9	1.1	23.2

注) 播種様式は「ドリル播き」。

表5 麦類生育調査ほ 生育状況(2月10日現在)

担当普及 センター	品種名	実施場所	草丈			茎数			幼穂長	
			本年 (cm)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (本/m <sup>2</sup> )	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (mm)	平年差 (mm)
大河原	シュンライ	大河原町金ヶ瀬	7.7	133	99	422	147	125	0.3	-1.2
	ホワイトファイバー	大河原町金ヶ瀬	7.3	-	-	652	-	-	0.3	-
仙台	ホワイトファイバー	大和町落合	6.4	53	-	135	38	-	-	-
大崎	シラネコムギ	大崎市古川	10.2	112	97	401	60	59	0.2	0.0
美里	シラネコムギ	大崎市鹿島台	7.5	160	95	306	113	58	0	-0.1
	夏黄金	涌谷町	6.4	79	76	410	68	100	0	-0.1
登米	あおばの恋	登米市豊里町	12.0	160	-	414	397	-	0.3	-
石巻	シュンライ	石巻市桃生町	5.6	45	52	349	37	91	0.6	-0.3
	ミノムギ	石巻市桃生町	8.8	62	76	196	30	45	0.3	-0.6
	シラネコムギ	石巻市桃生町	7.1	50	55	168	32	24	0	-0.3

注1) 平年値は、過去7か年中の値から、最高値と最低値を除いた5か年の平均値。

注2) 大河原町「ホワイトファイバー」は、令和元年播種から調査のため、前年値(比・差)及び平年値(比・差)はない。

注3) 大和町「ホワイトファイバー」は、平成30年播種から調査のため、平年値(比・差)はない。

注4) 登米市「あおばの恋」は、平成28年播種からは場変更のため、平年値(比・差)がない。

注5) 幼穂長の「0」は、観察の結果、幼穂を確認できなかったことを、「-」は未調査であることを示す。

## <生育状況等に関する担当農業普及センターのコメント>

(注)普及センターのコメントでは、各地域で観測した値と比較している場合があるため、表5の平年比(差)と一致しない場合がある。

### 大河原

- ・12月中旬～2月中旬の平均気温は高めに推移した。降水量は、12月は少なかったが、1月下旬に日当たり降水量が100mmを超える日もあった。日照時間は平年よりやや少なかった。
- ・雪害、凍害等は見られなかった。12月の少雨の影響か、一部葉枯れの症状が見られたが、全体的な生育は概ね順調とみられる。

#### 「シュンライ」

- ・草丈は平年よりやや短いですが、茎数が422本/m<sup>2</sup>と平年、前年を大きく上回っている。平均の幼穂長は0.3mmで、主茎では0.5～1mmであった。

#### 「ホワイトファイバー」

- ・生育量では茎数が652本/m<sup>2</sup>とシュンライを大幅に上回っている。平均の幼穂長は0.3mmで、主茎では0.5～1mmであった。

### 仙台「ホワイトファイバー」

- ・平均気温は、1月上旬～2月上旬は高めに推移した。1月下旬にまとまった降雨があり、降水量は平年を上回った。
- ・草丈は6.4cm(平年比60%)、茎数は135本/m<sup>2</sup>(平年比50%)と生育量は平年を下回った。

### 大崎「シラネコムギ」

- ・播種期の遅れが影響し、2月10日時点の生育量は、草丈は平年並(103%)だったが、茎数は平年比52%と平年を下回った。また、白鳥による食害が見られた。

### 美里「夏黄金・シラネコムギ」

- ・暖冬のため2月10日現在の生育量は概ね順調で、鳥獣害・雪害・凍害等は確認されなかった。
- ・2/10現在、夏黄金・シラネコムギ両品種ともに葉数は3枚目が展開中。幼穂は夏黄金・シラネコムギともに確認できなかった。

### 登米「あおぼの恋」

- ・平年に比べて積雪ほとんどない。鳥類による食害が見られた。

### 石巻

- ・12月の平均気温は平年差+0.7℃、日照時間は平年比107%、降水量は平年比80%であった。
- ・1月の平均気温は平年差+2.1℃、日照時間は平年比83%、降水量は平年比219%であった。

#### 「シュンライ」

- ・草丈は平年差-5.6cm、茎数は平年比76%、幼穂長は平年差-0.4mmで、生育量は平年を下回った。

#### 「ミノリムギ」

- ・草丈は平年差-3.3cm、茎数は平年比42%、幼穂長は平年差-0.6mmで、生育量は平年を下回った。

#### 「シラネコムギ」

- ・12月10日時点で未出芽だったが、12月下旬に出芽を確認した。
- ・草丈は平年差-5.4cm、茎数は平年比32%、幼穂長は平年差-0.2mmで、生育量は平年を下回った。